

平成31年 1月 10日

麻酔科疼痛治療科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「手術室における全身麻酔後の予期せぬ再挿管の原因と危険因子」への協力をお願い

麻酔科疼痛治療科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2008年1月～2018年7月に当科において、全身麻酔手術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 平成35年 3月 31日

研究目的・方法：

岐阜大学医学部附属病院における術後再挿管となった症例を抽出し検討することで、再挿管となった原因、危険因子を明らかにする。過去10年間で当院において手術室で再挿管となった患者の年齢、危険因子や術前合併症などの患者因子、手術部位や手術時間などの外科因子、術中使用薬などの麻酔因子の情報をカルテから抜粋する。

研究に用いる試料・情報の種類：

- ① 性別、年齢、身長、体重、BMI
- ② 診療科、麻酔方法、術前合併症、術前内服薬、ASA分類、手術部位、体位、診断名、術式
- ③ 麻酔時間、手術時間、輸液量、出血量、尿量、輸血量、術中偶発症、薬剤使用量、挿管難易度
- ④ 血液検査 WBC、Hb、Plt
生化学検査 TP、Alb、AST、ALT、Na、K、Cl
凝固検査 APTT、PT、Fib
ABG pH、PaO₂、PaCO₂、HCO₃、BE、Lac
- ⑤ 血圧、脈拍、SpO₂、体温、自覚症状
- ⑥ 再挿管理由

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科

電話番号 058-230-6404

電話番号 058-230-6000（休日・夜間）

氏名：栞原 吉範

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科

氏名：栞原 吉範